



# 病院NEWS

no.  
387  
2016  
09/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

## 平成28年度第1回緩和ケア研修会を終えて

医療支援室

去る7月17日(日)・18日(月)の2日間、平成28年度第1回緩和ケア研修会を開催しました。この研修会ががん診療に携わる医師が緩和ケアの基本的な知識・技術・態度を習得するための大切な研修会です。

研修会には本院の医師53名、学外より医師11名・看護師2名の計66名が受講しました。

研修会では中條浩介先生(麻酔学講座准教授)を中心とした講師陣のもと、講義に加えてグループでの討議やロールプレイを演習しました。ロールプレイでは経験豊富な医師と1年目の研修医が同じグループで演習を行い、普段では得ることのない貴重な体験をされました。

全受講者が充実した2日間の研修会を終了し、修了証書を授与されることになりました。



## 認知症疾患医療研修会・事例検討会を開催

医療支援室



平成28年7月14日(木)18:00より医学部臨床講義棟1階講義室において、第10回認知症疾患医療センター研修会、事例検討会を開催しました。

今回は、東京都保健医療公社荏原(えばら)病院のメディカルソーシャルワーカーである鈴木謙一先生をお招きし、「認知症相談支援の概要と事例検討～面接・記録などの基礎と個人ワークを中心に～」という演題で講演を行って頂きました。事例検討を通じてアセスメント方法と面接技術を習得ができる内容でした。また、院内外合わせて約108名の方々にご参加頂きました。



## 狭心症・心筋梗塞とは

循環器・腎臓・脳卒中内科学 教授 南野 哲男

「ひとは血管とともに老いる」といわれています。高齢化が進む日本では、「血管の老い、すなわち、動脈硬化が原因で生じる病気が増え続けると予想されています。心臓に酸素や栄養を送っている冠動脈が動脈硬化などで狭くなったり詰まったりすると、酸素や栄養を心臓に十分に届けられなくなります。この状態が狭心症や心筋梗塞で、両者をあわせて虚血性心疾患ともいわれます。

では、日常生活で狭心症や心筋梗塞の虚血性心疾患を疑う症状がどのようなものなのでしょう?いずれも胸痛圧迫感や締め付け感のある痛みが特徴です。「象に乗ったような重苦しい感じ」と言った患者さんもおられました。痛みは「面」で生じ、一点を特定できないことが多いです。肩やあごに痛みが広がることもあります。

労作性狭心症では、冠動脈の狭窄により、早足で歩いたりや階段を登ったりするなどの「労作」によって胸痛が生じ、安静により消失します。持続時間は数分から10分ぐらいです。心筋梗塞では、冷汗をとまなうような強い圧迫感や締め付け感のある胸痛が15～30分以上持続します。一方で、高齢の方や糖尿病患者さんの中には心筋梗塞が起こっても無症状の方がおられます。上記のような胸部違和感があったら、すぐに病院を受診してください。

問診などで狭心症が疑われた場合、①運動負荷心電図、②心臓核医学検査、③冠動脈CTなどを実施します。これらの検査で狭心症が強く疑われた場合、心臓カテーテル検査を行います。心臓カテーテル検査は、手首や太ももの付け根を走行する動脈からカテーテルを挿入し、冠動脈の入り口で造影剤を選択的に注入するものであり、冠動脈の状態を最も正確に評価できる検査です。心筋梗塞は、心電図、血液検査、心臓超音波検査などで診断できます。診断の確定と引き続いての治療のため、心臓カテーテル検査が緊急で実施されます。

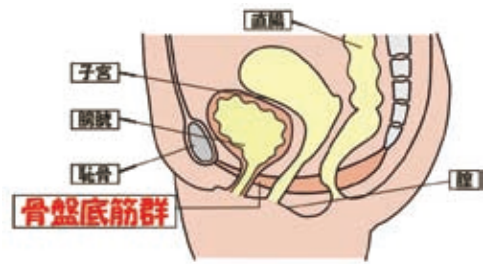
本稿で述べたような胸部症状がありましたら、医療機関を受診するようにお願い致します。

毎日新聞「四国健康ナビ」H28.6.21掲載

笑ったり、くしゃみをした瞬間、「あっ!」と思ったことはありませんか?尿漏れは40歳以上の女性の3人に1人は経験しているという報告があります。恥ずかしいことではありませんが、誰にも相談できず人知れず悩んでいる人も少なくないと思います。今回は、女性に多いおしこの悩みについて述べたいと思います。

女性特有の排尿障害について知るうえでのポイントは、骨盤底筋について理解することです。骨盤底筋群は、膀胱・子宮・直腸の下に位置している筋肉群の総称で(図)、お腹からの圧力を常に受けています。便秘や肥満など、過度の腹圧がかかる状態が続くと骨盤底筋に負担がかかります。さらに女性は妊娠・出産というイベントによる骨盤底筋への負担や閉経にともないさらに筋肉が脆くなります。骨盤底筋群の脆弱化により、膀胱や尿道が不安定になるため、特に尿漏れなどの障害が現れやすくなります。

それでは、いろいろな悩みについて典型的な例を挙げて説明したいと思います。



【図:女性骨盤内イラスト】

Case ①

『急に尿意を感じ、我慢が難しい。特に手洗いや炊事の時に尿意をもよおす。時々、トイレまで間に合わずに漏らしてしまうこともある。』

過活動膀胱に特徴的な主訴です。このように尿意とともに漏れる尿失禁を特に切迫性尿失禁と言います。1回の排尿量が少ないことが特徴です。残尿が多くないことを確認したうえで、治療に入ります。保存的治療としては骨盤底筋体操<sup>注1)</sup>や膀胱訓練<sup>注2)</sup>があり、薬物治療としては抗コリン薬やβ3受容体作動薬があります。それぞれ効果や副作用が異なりますので、患者さんに合った治療を選択します。

Case ②

『3回出産の経験者。趣味のエアロビクスで飛んだりすると尿が漏れる。』

飛んだり跳ねたり咳やくしゃみをした時など、腹圧がかかった時にもれる尿失禁を腹圧性尿失禁と言います。骨盤底筋が弱いために腹圧の上昇に耐えきれずに尿がもれ出てしまうので、骨盤底筋体操が有用で、骨盤底筋を正しく鍛えると、軽症の場合には3-4割の治療効果が得られると言われています。それでも効果に乏しい場合には、尿失禁の手術を検討します。

Case ③

『4回出産の経験者。股の間に何か挟まっており、尿が出にくい。農業を今でもしている。』

膣から臓器が脱出する骨盤臓器脱の患者さんで多く聞かれる主訴です。脱出臓器は、多い順に膀胱>直腸>子宮で、台上診により判別は可能です。ペッサリーなどの保存的治療から、各種の手術療法まで幅広い選択肢があります。それぞれにメリットデメリットがありますので、患者さんの状態や希望に沿って方針を決定する必要があります。

Case ④

『頻尿。尿がたまると膀胱が痛く、排尿により痛みは改善する。近医を受診したが、検尿では異常なしと言われた。』

間質性膀胱炎<sup>注3)</sup>に特徴的な症状である“蓄尿時痛”の訴えがあります。麻酔下に水圧拡張術を行い、特徴的な所見をもって診断を確定します。原因が不明な難治性の疾患のため、確定診断後は対症療法が中心となります。

注1) 肛門や膣を意識的に締める体操

注2) 尿意が出てもすぐにトイレに行かず我慢するトレーニング

注3) 2015年7月にハンナ潰瘍型の間質性膀胱炎は難病に指定されました。

これらの疾患は緊急を要するものではありませんが、外出を控えたり趣味をあきらめたりなど生活の質(QOL=クオリティオブライフ)の低下に関わる問題です。笑顔で毎日を過ごすことが出来るよう、気になる症状があれば気軽に泌尿器科に相談してください。

※第2回イキイキさぬき健康塾(平成27年3月28日開催)の講演内容を要約したものです。

**四国新聞社の記事転載について、ホームページでの公開には  
許諾されていないため、転載記事を除きました。**

四国新聞 2016年(平成28年)7月8日(金曜日)掲載(四国新聞に転載について許諾済み)

## 第16回香川大学医学部・香川県連絡会議を開催

総務課

去る7月19日(火)に第16回香川大学医学部・香川県連絡会議が、本学医学部管理棟5階大会議室で開催されました。

今回の会議では、香川県から「医学生修学資金貸付制度対象医師の義務年限期間内の勤務先について」及び「精神保健福祉行政への協力について」の2議題が提案され、資料に基づく説明の後、香川県から本学に対して提案事項の協力要請が行われました。

次に、本学から「香川県による寄附講座等の現状と今後について」、「地域医療推進枠及び奨学生の現状について」、「県立病院への本学医学部卒業生の就職状況について」及び「香川県立中央病院への本学医学部卒業医師の増員加速について」の4議題を提案し、資料に基づき横見瀬病院長、中村祐教授、横田客員准教授(感染症講座)及び鎌田客員准教授(神経難病講座)から「香川県による本学寄附講座等の取り組み」についての報告が行われ、本学から香川県に対して提案事項の協力要請が行われました。

最後に、本学と香川県が今後も情報交換し、協力していくことが再確認され、閉会しました。





## 紹介患者FAX予約を17時まで受付時間延長

### 地域連携室

平成28年6月1日から、紹介患者さんのFAX診療申込の受付時間を「9時～16時」から「9時～17時」に延長いたしました。

16時以降に地域の医療機関様より当院をご予約いただく患者さんにも、当日にお返事をお返しすることができるようになりました。17時以降に着信したFAXについては、従来どおり翌日(土・日、祭日、年末年始除く)のお返事となりますのでご了承ください。

## 臨床研究に関するご案内

### 医学部倫理委員会委員長

### 医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

## イベントカレンダー H28.9～10月 予定表

| 月日      | 時間          | 場所                                  | 名称及び内容  | 担当       | 連絡先           |
|---------|-------------|-------------------------------------|---|----------|---------------|
| 9/1 木   | 14:00～15:30 | 病院2階<br>カンファレンスルーム                  | 糖尿病教室   | 臨床栄養部    | (087)891-2066 |
| 9/4 日   | 13:30～16:20 | 三木町文化交流プラザ                          | 日本肝臓学会 平成28年度肝がん撲滅運動 市民公開講座                         | 消化器・神経内科 | (087)891-2156 |
| 9/11 日  | 11:00～12:00 | 丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1<br>高松丸亀町香番街東館4階 | イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療-<br>「街角救命マシン活用法」             | 総務課      | (087)891-2008 |
| 9/15 木  | 14:00～15:30 | 病院2階<br>カンファレンスルーム                  | 糖尿病教室   | 臨床栄養部    | (087)891-2066 |
| 9/16 金  | 14:00～15:30 | 病院2階<br>カンファレンスルーム                  | 平成28年度 第2回 肝臓病教室                                    | 地域連携室    | (087)891-2468 |
| 9/21 水  | 14:00～15:30 | 病院2階<br>カンファレンスルーム                  | 腎臓病教室   | 臨床栄養部    | (087)891-2066 |
| 10/6 木  | 14:00～15:30 | 東1階<br>ダイルーム                        | 糖尿病教室   | 臨床栄養部    | (087)891-2066 |
| 10/19 水 | 14:00～15:30 | 病院2階<br>カンファレンスルーム                  | 腎臓病教室   | 臨床栄養部    | (087)891-2066 |
| 10/20 木 | 14:00～15:30 | 東1階<br>ダイルーム                        | 糖尿病教室   | 臨床栄養部    | (087)891-2066 |
| 10/23 日 | 11:00～12:00 | 丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1<br>高松丸亀町香番街東館4階 | イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新治療-<br>「脳腫瘍治療への挑戦～術中MRI 四国初上陸～」 | 総務課      | (087)891-2008 |
| 10/27 木 | 17:30～19:30 | リーガホテルゼスト高松<br>3F 「ダイヤモンド西」         | 日本皮膚科学会 第59回香川地方会                                   | 皮膚科      | (087)891-2162 |



**看護職員募集**

**中途採用者随時募集**

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

**編集委員会** (50音順)

荒井(検査)、石井(外来)、小野(総務)、  
笹川(放射線)、白神(麻酔)、田川(管理)、  
田中(看護)、中妻(看護)、芳地(薬剤)、  
村上(病棟)、横井(情報)、横山(経営)、  
吉野(医事)

〔委員長 横見瀬病院長〕